



発行元：鳥取赤十字病院 広報委員会  
発行責任者：副院長 西土井 英昭

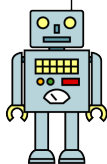
## 「ロボット手術機械 「ダヴィンチ」のご紹介」

泌尿器科部長

小野 孝司

ついに鳥取赤十字病院に**ロボット手術機械「ダヴィンチS」**が導入され、前立腺手術を行っています。

このロボット手術機械は腹腔鏡手術の発展型で、細い筒を6本挿入して手術を行います。ダヴィンチは90年代にアメリカで開発された手術支援ロボットで、この機械を使用した手術治療は癌の新たな治療法として注目を集めています。



ロボットといっても、ダヴィンチが勝手に動いて手術をするわけではありません。術者(医師)がダヴィンチを介して手術をすることにより、より**鮮明な画像**でより**緻密な手術**を行うことが可能になります。

ダヴィンチは3つの機械で構成されており、1つ目の機械は操作部(写真1)で、これに術者が座って手術を行います。両手足を使って

高解像度三次元立体画像を見ながらロボットアームを操り手術をします。この時、あたたかも患者さんの体の中に入って手術をしているような感覚になります。手振れ防止機能もついており、繊細で緻密な手術が可能になります。2つ目はカメラと手術用鉗子(写真2)で、実際に手術を行う部分であり、3本の鉗子を付けた腕と1本のカメラで構成されます。3つ目は高解像度ハイビジョンモニターが搭載されたカート(写真3)です。術者以外のスタッフはこのモニターを見ながら手術のサポートを行います。



写真2



写真1



写真3

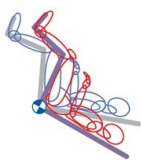
肉眼より10倍の良好な視野と、人間の手以上に複雑で繊細な動きができるロボット手術に期待できるものは、第1に**安全性**です。合併症の軽減や出血量の減少が期待できます。



第2に**確実性**で、前立腺癌摘出術での根治性など良好な治療成績が期待できます。第3に**機能温存**です。手術前と同等の機能保持(尿失禁の軽減や勃起機能の温存)が期待できます。最後に**低侵襲**(体に負担が少ない事)です。小さな傷で手術を行うので痛みが少なく、**早期の社会復帰**が可能となります。



しかしダヴィンチにも弱点があります。25〜30度頭を下にして手術を行うため緑内障の患者さんや、重度の呼吸機能障害・心臓障害の患者さんでは**手術が出来ない場合**があります。またダヴィンチは手術中に0.2〜0.40%システムエラーで手術が続行できない場合が報告されております。

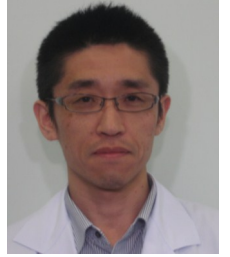


当院ではその際でも開腹手術に変更することなく、ロボット手術とほぼ同等の腹腔鏡下手術に変更して**安全に手術を続行**できます。ダヴィンチによる手術を希望の患者さんはお気軽に泌尿器科を受診し、当科医師に御相談下さい。

注) 保険適用となる手術は前立腺手術に限られます。

# 漢方外来を始めました

脳神経外科副部長 大竹実



10月より、脳神経外科にて「漢方外来」を始めました。診療は当科の大竹医師（漢方専門医）が行います。

漢方医学の特徴は、生活習慣や病気によって生じた生体のアンバランスを是正し、自然治癒力を十分に発揮させるように援助することです。よって、原則としてはすべての病気や不健康状態に適応になりえますが、特に以下のような病気（病態）で、漢方の効果が実感できると思われれます。

- 感冒、インフルエンザ、嘔吐下痢症などの急性ウイルス性疾患
- がんに対する化学療法や副腎皮質ステロイド剤などの副作用軽減
- 女性の月経関連の諸症状
- アレルギー性疾患、アトピー性皮膚炎、冷え性などの体質に関する問題
- 頭痛、関節痛、带状疱疹後神経痛などの疼痛性疾患
- 高齢者の不定愁訴 など



現代医療は西洋医学が主流を成していますが、そこに東洋医学も組み合わせることにより、より満足のいく効果が得られます。些細なことでも構いませんのでご相談ください。

毎週水曜日が漢方外来の診療日となります。診察希望の方は受付までお申し出ください。



下肢静脈瘤でお悩みの方に朗報！

## 心臓血管外科が常勤となりました

心臓血管外科

心臓血管外科の外来診療日が週1回から週4回（月、火、水、金）体制となります。

診療は引き続き谷口巖医師が行い、手術にも対応いたします。

※下肢静脈瘤についてはかわら版 41 号をご覧ください

## 日赤糖尿病講演会を開催します

糖尿病教育推進委員会

11月の糖尿病週間に合わせて、とりぎん文化会館にて「日赤糖尿病講演会」を開催いたします。

今回は泌尿器科医師による糖尿病と膀胱機能について、内科医師による糖尿病と神経障害など5講演を予定しています。

詳しくはB館ホワイトボードや会計窓口のポスターやチラシをご覧ください。

## 平成26年度 日赤糖尿病講演会

### 糖尿病を放っておくとどうなる？

～正しく知ろう合併症～

と き：11月15日（土）

9:40～12:15（受付は9:00から）

ところ：とりぎん文化会館 第1会議室

同日、会場にて血糖測定器の無料点検を実施しています。

